

令和 5 年度（第 50 期）
事業報告

千葉県千葉市中央区中央港一丁目 1 2 番 1 1 号

一般財団法人
千葉県薬剤師会検査センター

令和 5 年度事業報告

I. 事業概況

昨年 5 月に新型コロナウイルス感染症の扱いが 5 類に移行となり、事業環境は以前の状況に戻りつつあるものの、検査機関相互の競争激化や物価高騰など当財団を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。しかし、正確且つ安定的な試験検査を継続すると同時に人材の育成を図り、顧客の維持拡大や物価高騰に伴う検査料金の改訂等に取り組んだ結果、当期は前年度を上回る事業収入となりました。また、水道光熱費等の高騰も落ち着きを見せたことで経費を抑えることができ、経常収支は前年度を上回る黒字幅となりました。

令和 5 年度は、創業 50 周年を迎えた節目の年でもありました。次の 50 年に向けて、安定的な事業継続と更なる発展を目指してまいります。

管理部門は、経営サポートへの取り組みを継続し、また全職員がやる気や働きたいを感じられる職場環境を提供するべく様々な取り組みを実施しました。

技術検査部門は、人材育成や職場環境の向上を図るとともに、顧客の維持および新規開拓に取り組んだ結果、予算を達成することができました。

業務部門は、顧客要求等に迅速に対応し徹底的にフォローすることにより、技術検査部門や簡易専用水道検査部門の業績に大きく貢献しました。簡易専用水道検査事業は、検査施設数の減少を検査価格の引き上げで補い、前年を若干上回る売上となりました。

食品検査部門は、輸入食品から利益の見込める一般食品へのシフトを進めるとともに徹底的な経費削減に取り組み、収益面で大きく改善しました。

医薬品検査部門は、着実な試験検査を継続しつつ、新規顧客の獲得にも取り組み、過去最高の売上となりました。

製品安全検査部門は、検査料金の改定および取引先のコロナ禍からの業績回復に牽引され、事業収入は予算を大幅に超え、前年度を上回りました。

品質保証部門は、水道 GLP 認定や簡易専用水道管理の維持審査、MLAP 認定や食品検査機関登録の更新審査等に対応するとともに、登録の継続的な維持と試験検査業務の精度と信頼性を確保するため、定期的な内部監査、内部点検を実施しました。また、品質マネジメント活動の基本となる品質方針を公衆衛生にフォーカスした内容へと見直す提案を行いました。